一人一人の意識の変化がごみの減量につながります！

みなさんの力で減り始めている町のごみ排出量

今年3月に環境省が発表した令和6年度の「一人一日当たりのごみ排出量」（図1）において、福島県平均は953グラムで全国ワースト1位という結果でした。その中で、桑折町は1、039グラムと、県平均よりも86グラム多く、県内59市町村中48位という現状です。一方で、令和7年度の町の「一人一日あたりのごみ排出量」は996グラム（町独自調査の速報値）で、令和6年度と比較して43グラム減少しており、令和5年度から3年連続減少しています。これまでの町民の皆さんのごみ減量化の取り組みの成果が少しずつ表れています。私たち一人一人の小さな気づきや行動で、ごみ排出量は確実に減らせます。町の補助金制度の活用や地域団体の取り組みなどを通じて、引き続きご協力をお願いします。

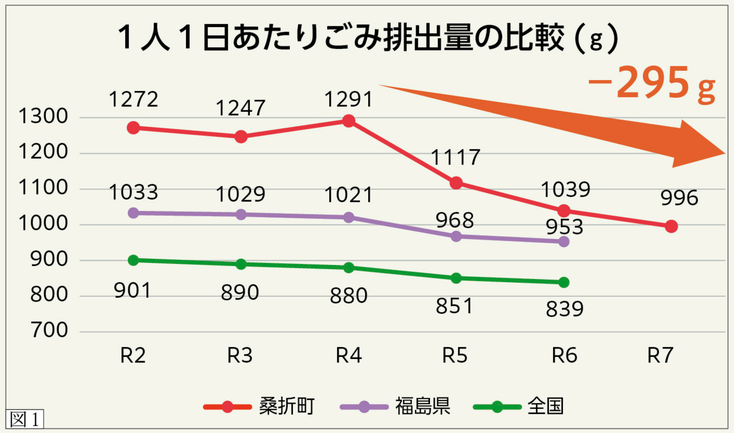


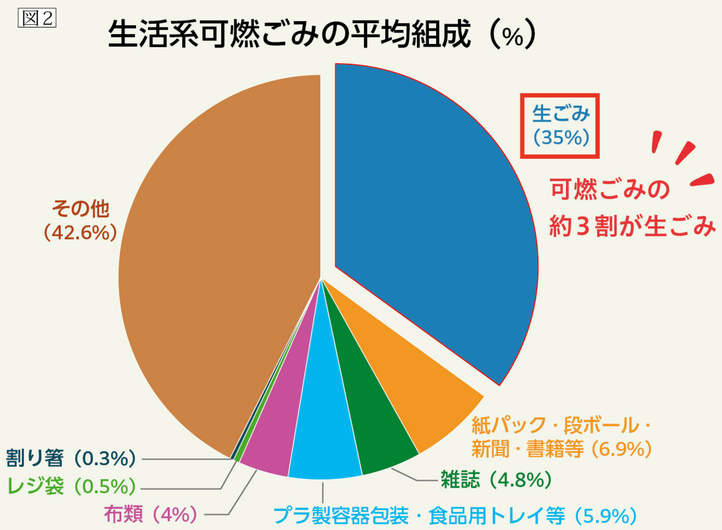
図1

3年連続で減少中!!

生ごみを減量しましょう！

令和7年度生活系可燃ごみの組成分析調査の結果、家庭ごみのうち35%が生ごみであることが分かりました（図2）。生ごみのうち80%が水分であるといわれています。生ごみを排出する前には「3キリ運動」を意識しましょう！

図2



動画配信始めました！

ごみの分別など、ごみ減量化に関する情報の動画配信を始めました。ぜひご覧ください！

やってみよう！3キリ運動

水キリ

きちんと水分を切ってごみ出しをすることで、ごみの重量が減らせるだけでなく、生ごみ特有のにおいが軽減され、燃やす際のエネルギーの節約にもつながります。

食べキリ

料理は食べる分量を把握して作り過ぎないようにしましょう。作った料理はできるだけ残さずおいしく食べるようにし、残ったものは少しアレンジして違う料理にすると食べきることができます。

使いキリ

買い物前に冷蔵庫の中身をチェックし、買い物メモを作ってから出かけると、不要な買い物を控えることができます。

ご活用ください！ 電動生ごみ処理機購入費補助

町では電動生ごみ処理機を購入した際に購入価格の1/2（最大2万円）の補助金が出る制度もありますので、ぜひ積極的にご利用ください。

電動生ごみ処理機は、生ごみを乾燥させるなどの方法で重量を減らす機械です。処理機を使うことで、ごみ出しの負担が軽減されるとともに台所が衛生的になります。

使用前 880g　　使用後 120g

▲生ごみ処理機。寸胴鍋くらいの大きさ

令和8年度　自衛官募集

募集人員・試験内容など、詳細は問い合わせください。

募集種目	資　格	受付期間	試験期日
航空学生	高卒（見込含） 18歳以上 24歳未満	7月1日～8月28日	1次　9月19日・26日 2次　10月15日～22日 3次　（海）11月20日～12月16日 （空）11月14日～12月17日
一般曹候補生	18歳以上 33歳未満	7月1日～9月1日	1次　9月16日～27日 2次　10月17日～11月1日
2等陸・海・空志 （任期制自衛官）		年間を通じて実施	受付時または各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。

自衛隊福島地方協力本部　福島募集案内所　☎545-7995